

## 視察研修報告

### 視察研修

日時 平成29年8月30日(水)午前9時30分から午後17時00分

場所 道の駅「あらエッサ」(島根県安来市) 道の駅「たたらば壱番地」(島根県雲南市)

### 〔出席委員〕

河根裕二委員、池長綾子委員、池原隆秋委員、横田昭男委員、荒尾 極委員、  
水津文恵委員、三澤秀正委員、米田克彦委員

### 視察研修概要

#### 1. 道の駅 あらエッサ(平成23年4月オープン)

所在地 島根県安来市中海町118番地1

敷地面積 約13,200㎡

建築面積 約 917㎡

#### あらエッサ駅長からの説明

周辺の景観との調和を考慮した木造平屋建であり島根県で27番目にできた駅。

国道9号線に面しているため平日・休日の区別なく交通量が多い。

農産物等販売所(JA運営)では市内で取れた四季折々の農産物、農産加工品が並び、利用者の6割が農産物を買求めていく。

海産物販売所では、安来市に漁港はなく松江三津漁港から仕入れている。

和風レストランは、松江市から明治39年建築の古民家を移築、再利用。

情報コーナーでは、地域文化にも親しんでいただくための安来弁講座など駅職員手作りの地域色ある番組を放映、好評である。

一体型ではなく、それぞれに事業者が入っている。駅長は、安来市の嘱託職員である。

駅長の仕事として、情報発信、イベント企画をしている。

入込客は年間約28万人。

## 質疑応答

【委員】運営は、独立採算でしているのか。

【駅長】それぞれが、売上の一部を市に納めて運営している。

【委員】職員は駅長1名で運営しているのか。

【駅長】駅長と職員4名交代制で勤務している。(平日2名、週末は3から4名体制)

【事務局】イベントは、市からの予算か。

【駅長】運営事業者・地元事業者・市で、イベント別に出しあっている。

## 2. 道の駅 たたらば壱番地(平成25年3月オープン)

所在地 島根県雲南市吉田町吉田4378番地31

敷地面積 約2,544㎡

建築面積 約 778㎡

### たたらば壱番地駅長からの説明

無料休憩室棟(情報コーナー、トイレ)24時間利用可能。入込客は年間約40万人程度。

振興施設棟(特産品販売コーナー、地域食材提供コーナー、軽食販売コーナー、農産物販売コーナー)。

平成28年4月に国交省トイレが完成した。

休館日は、原則年中無休(年1回施設メンテナンス)

イベント 道の駅特産品総選挙(春・秋)。

菌山街道2017 きのこを使い開催。

秋の収穫祭 地元の食材を使って開催。

駅長となって今年の10月で3年目。利用者の皆様からご意見を聞きながら運営をしている。

## 質疑応答

【委員】雪が多いということだが、困ったことはなかったか。

【駅長】高速道路開通当初は、スタッドレスを履いていない方もいらっしまったので、通行止めになることがあったが、現在は、積雪情報など道の駅を利用して情報収集していただいている。また、ここの道の駅は屋根の形状の影響もあり、大雪の時は駐車場の除雪が大変である。

【委員】独立採算でしているのか。

【駅長】雲南市から指定管理費、国交省からトイレの管理委託費、また、指定管理業者からも維持管理費を頂き運営している。土日祝日は、警備員を配置しているので、かなりの費用がかかる。

【委員】気高ではトイレが奥に計画されているがどう思われますか。

【駅長】道の駅のトイレは24時間利用されることもあり、別棟が望ましいと考えてます。

【駅長】駅長と副駅長で管理しているがスタッフが足りない。